

# 第4次日野市農業振興計画 ・前期アクションプラン【概要版】

## — みんなの個性が輝く新時代の農業へ —

### 計画策定の趣旨

- 「日野市農業基本条例」に基づく農業振興計画  
都市農業振興基本法における地方自治体の地方計画を兼ねる
- 日野市が目指す農業振興の方向性と今後の施策展開を示す
- 計画期間は令和6年度～令和15年度の10年間
- 都市農業を取り巻く社会変化を踏まえ、第3次計画を見直し
  - 都市農業振興基本法の制定等の法整備  
都市農地は「あるべきもの」へ
  - 不安定な社会情勢を受けた物価の高騰
  - 気候変動の影響、みどりの食料システム法の制定



### 策定スケジュール

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 市民農園使用者アンケート    | R4.12～R5.1       |
| 計画策定に向けた市民アンケート | R5.4             |
| 農業者アンケート        | R5.4             |
| 農業懇談会から提言       | R5.5             |
| 計画策定委員会(計7回)    | R5.5.18～R6.1.30  |
| 認定農業者ヒアリング      | R5.7～12          |
| パブリックコメント       | R5.12.11～R6.1.15 |



### 本計画の構成

詳細は本編をご覧ください

#### 1章 計画策定の趣旨

計画策定の目的、位置づけ、計画期間 ほか

#### 2章 日野の農業の現状と課題

社会を取り巻く変化、日野の農業の現状、課題 ほか

#### 3章 日野の農業の振興目標に向けた3本の柱と施策方向

農業振興目標、10年後の日野の農業の姿、農業振興施策の3本の柱

#### 4章 振興目標の実現に向けて【前期アクションプラン】

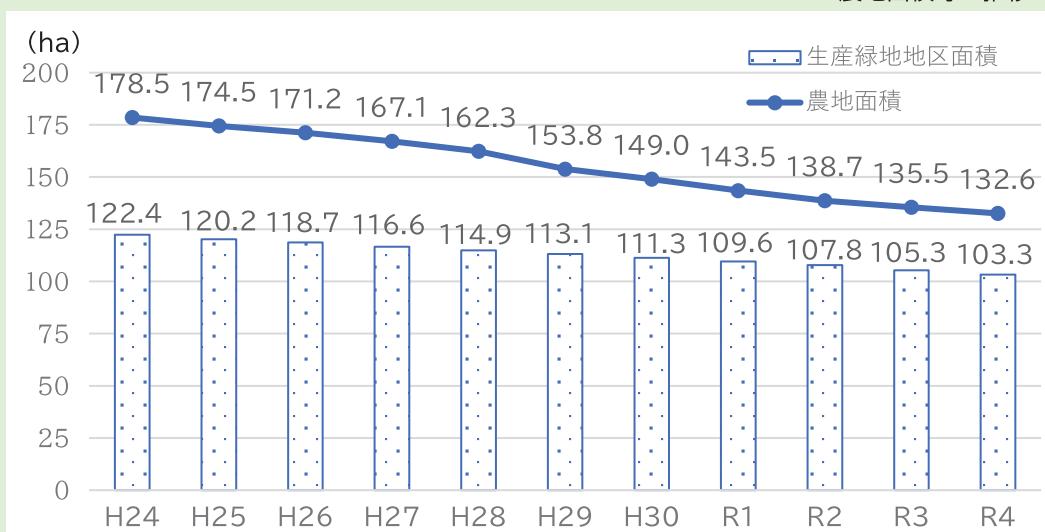
1. 日野らしい農業経営、2. 市民の暮らしつつながる農業、3. 持続的な地域循環

#### 5章 推進体制と役割

計画の推進体制、各主体の役割 ほか

# 日野の農業

## ■ 農地面積など



農地面積:東京都の地域・区市町村別農業データブックをもとに作成

生産緑地地区面積:日野市都市計画課

## ■ 農業経営

|          |     |
|----------|-----|
|          | H30 |
| 認定農業者数   | 58  |
| 認定新規就農者数 | 0   |



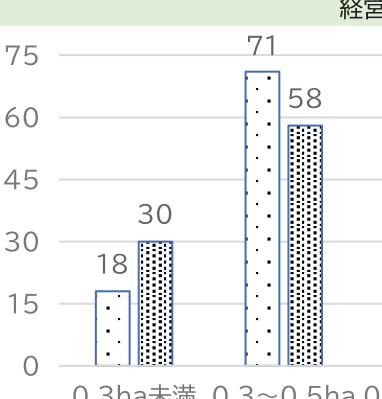
トマト栽培の様子

## 農家戸数の推移 単位:戸

|       | H12 | H17 | H22 | H27 | R2  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総農家数  | 391 | 371 | 348 | 301 | 273 |
| 販売農家数 | 217 | 194 | 169 | 150 | 120 |

資料:農林業センサス(2000年~2020年)

注:「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。



資料:農林業センサス(2010・2020年)

## 本計画のポイント

- 農業に対する市民との合意形成
  - ➡ 無作為抽出による市民への意識調査を今回初めて実施
  - ➡ 農地を残すことに対する市民の意向、食育への期待を踏まえた計画策定
- 農地減少とともに農業施策のターニングポイント
  - ➡ 農地の減少とともに販売農家の経営耕地面積が著しく減少しており  
今後10年間で農業経営が危機的状況に陥る可能性
  - ➡ 本計画で初めて経営耕地以外の農地の面積に目標を設定
  - ➡ まとまった農地を残すための農地の公有地化の検討を明記
- 気候変動対策
  - ➡ 「みどりの食料システム法」が制定され、環境に配慮した持続可能な農業の推進が求められる
  - ➡ 環境負荷低減に資する設備の導入や市内の資源を活用した循環型農業の推進を明記
- 新しい時代を創る農業経営
  - ➡ 女性を含めた様々な農業者が活躍できるよう、ライフステージに合わせたサポートの検討を明記
  - ➡ 「稼げる農業」を目指し、生産性向上のためのスマート農業の推進を明記

## みんなの個性が輝く

消費者のニーズに応じて、日野市の特徴を活かして、それぞれの個性を発揮することを目指す

- 1 日野らしい農業
- 2 市民の暮らしと農業
- 3 持続的な地域循環

## 主な取組み

- 認定農業者への支援
- 日野産農産物の販路拡大
- 学校給食への出荷
- 学校給食に出荷する農場
- 交流型(市営)農場
- 援農ボランティア
- 環境負荷低減の取り組み
- 落ち葉や剪定枝などの堆肥化の推進【拡充】
- 農地(生産緑地)

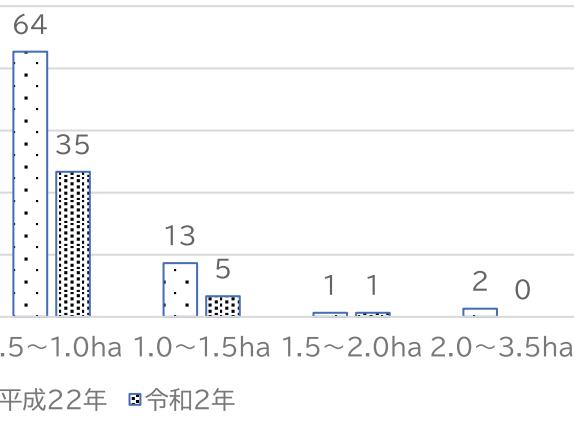
# の現状と課題

認定農業者等の数の推移 単位:人

| R1 | R2 | R3 | R4 |
|----|----|----|----|
| 50 | 50 | 51 | 52 |
| 2  | 2  | 2  | 2  |

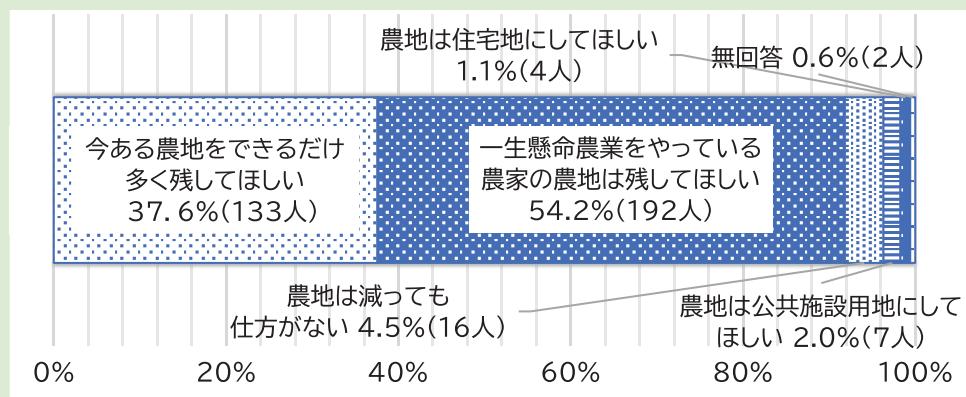


耕地面積の規模別の販売農家数の比較 単位:経営体



## ■ 市民の農業に対する考え方

農地を残すことに対する市民の考え方(R5市民アンケートから)



日野の農業に期待すること(R5市民アンケートから)

- 身近で地元農産物が買える 70.1%
- 学校給食への日野産野菜の供給 47.7%
- 農業体験などを通した食育 41.0%
- うるおいのある環境 34.2% など

## ■ 課題

- 農業収入の向上と担い手の確保
- 農地の保全
- 地産地消の推進と市民の理解促進

## 農業振興目標と主な取組み

### いく新時代の農業へ

ふじた多様な農業経営が営まれている  
かし、様々な主体による連携のもと、それ  
しながら共に新たな都市農業を創る

経営

つながる農業

循環

支援【継続】

ブランディング【新規】

苟の奨励【継続】

する農業者への運搬支援【拡充】

民農園の開設【新規】

養成講座「農の学校」の運営【継続】

取組みの拡大【拡充】

チップ、家畜ふん等を利用した循環型農業

の公有地化の検討【新規】

農地面積と経営耕地面積(販売農家)の推移及び目標値 単位:ha

| 区分     | H22 | H27 | R2  | 推計値 R15 | 目標値 R15 |
|--------|-----|-----|-----|---------|---------|
| 農地面積   | 193 | 157 | 139 | 88      | 93      |
| 経営耕地面積 | 93  | 76  | 56  | 27      | 28      |

農地面積:面積調査(農林水産省)

経営耕地面積:農林業センサス(2005年~2020年)

農地区別経営耕地面積の推移及び目標値 単位:ha

| 区分  | H22 | H27 | R2 | 推計値 R15 | 目標値 R15 |
|-----|-----|-----|----|---------|---------|
| 水田  | 18  | 10  | 4  | 1.5     | 2       |
| 畠   | 54  | 48  | 37 | 20.5    | 22      |
| 樹園地 | 24  | 20  | 16 | 9       | 10      |
| 計   | 96  | 78  | 58 | 31      | 34      |

資料:農林業センサス(2005年~2020年)

注:端数処理の関係で合計が合わない箇所がある

# 第4次日野市農業振興計画・前期アクションプラン(体系図)

## 振興施策

## 目標

### 1. 日野らしい農業経営

- (1) 農業を憧れる職業にしよう
- 111:認定農業者への支援【継続】
  - 112:家族経営協定経営体の拡大【継続】
  - 113:認定新規就農者への支援【継続】
  - 114:若手農業者への支援【拡充】
  - 115:女性農業者への支援
  - 116:農業者の出産・育児・介護環境の改善【新規】
  - 117:農業者が開設する農業体験農園の整備の推進【継続】
- (2) 日野の農産物の付加価値の向上
- 121:日野産農産物のブランディング【新規】
  - 122:魅力的な加工品の開発支援【継続】
  - 123:日野市ゆかりの農産物の種の保存(東光寺大根、平山陸稻)【継続】
- (3) スマート農業や栽培技術の向上
- 131:農作業の効率化や新しい栽培技術導入の取組みへの支援【拡充】

### 2. 市民の暮らしひつながる農業

- (1) 食育の推進
- 211:学校給食供給用農地の確保【拡充】
  - 212:学校給食への出荷の奨励【継続】
  - 213:学校給食に出荷する農業者への運搬支援【拡充】
  - 214:学校給食への日野産農産物の安定した供給と品質の維持【拡充】
  - 215:七ツ塚ファーマーズセンターを拠点とした農業体験イベントの開催【拡充】
  - 216:農業者や市内団体による農業イベントの開催支援【継続】
  - 217:小学校での農業体験授業の実施【継続】
  - 218:中央公民館での「田んぼの学校」の開催【継続】
- (2) 農地の多面的機能の発揮
- 221:防災協力農地の協定締結及び周知【拡充】
  - 222:防災兼用農業用井戸の設置支援
  - 223:市民団体と連携したコミュニティ農園の展開【新規】
  - 224:交流型(市営)市民農園の開設【新規】
- (3) 市民が支える農業
- 231:都市農業シンポジウムの開催【継続】
  - 232:援農ボランティア養成講座「農の学校」の運営【継続】
  - 233:援農ボランティアの活用【継続】

### 3. 持続的な地域循環

- (1) 地产地消と地域循環の推進
- 311:七ツ塚ファーマーズセンターの「農の拠点」機能の強化【拡充】
  - 312:学校給食供給農家数の確保【継続】
  - 313:日野産農産物共同直売所の運営【新規】
  - 314:日野産農産物活用店舗の拡大【拡充】
  - 315:農福連携の推進【拡充】
- (2) 環境に配慮した農業の推進
- 321:環境負荷低減の取組みの拡大【拡充】
  - 322:環境に配慮した設備の導入支援【拡充】
  - 323:落ち葉や剪定枝チップ、家畜ふん等を利用した循環型農業の推進【拡充】
- (3) 農地や用水の保全
- 331:農地の賃借の支援【拡充】
  - 332:農地(生産緑地)の公有地化の検討【新規】
  - 333:市民ボランティアによる水田の保全【継続】
  - 334:学校給食における積極的な日野産米の活用【継続】
  - 335:地域による用水の維持管理【継続】
  - 336:用水路の環境学習(小中学校での出前講座等)の実施【継続】

みんなの個性が輝く新时代の農業へ